

# たまかわ

1999

10

No.398

空と緑“新”呼吸する——広報TAMAKAWA



## 中山選手も走った

### 福島 空港 玉川健康マラソン

元オリンピックピック選手の中山竹通さん（現大阪産業大附属高校陸上部監督・ゼッケン1501番）が、玉川健康マラソン大会に招待選手として出場しました。

起伏の激しい10kmのコースに出場して大会を大いに盛り上げてくれました。なお、時間は33分30秒で三番目に速い記録でした。（88ページに記事）

# 平成10年度 決算

## 一般会計決算報告

平成10年度の一般会計と5つの特別会計、事業会計の決算は、9月定例議会において認定されました。一般会計の決算額は、歳入総額39億2,426万円、歳出総額37億4,448万円となりました。平成9年度決算額と比較すると歳入が1%、歳出が0.4%とどちらも僅かな伸びに止まりました。私たちが納めた税金がどのように使われたかを見てみましょう。

### 歳入

前年度と比較すると約3,609万円の増加となりました。

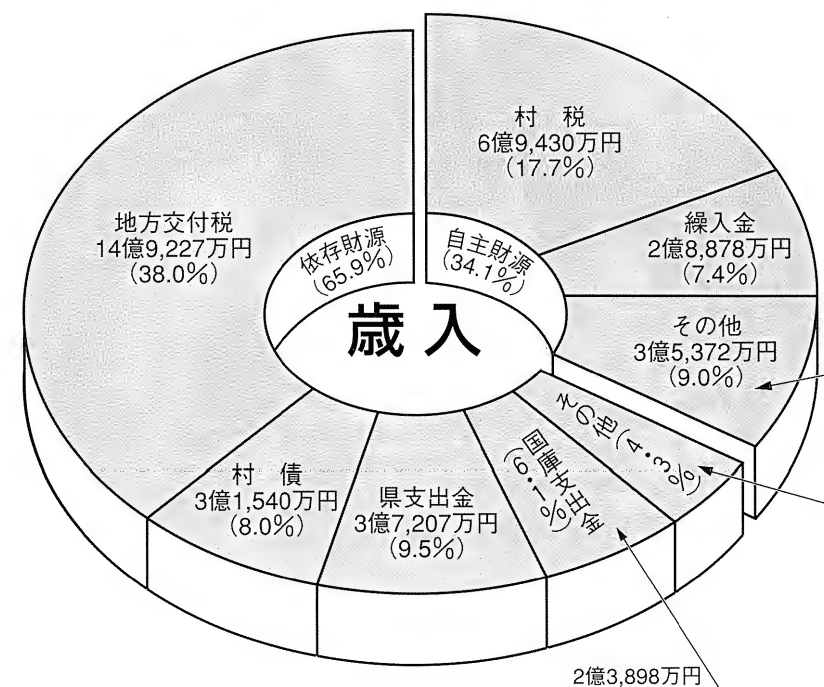
村税は、歳入全体の17.7%を占めており、地方交付税以外では、中心的な財源です。前年に比べて、1,733万円の減となっており、これは固定資産税及びたばこ税は伸びたものの村民税の減によるものです。

県支出金も前年に比べて、3,724万円、9.1%の減となりました。これは、福島空港整備関連事業補助金等の減によるものです。

特に大幅に増えたものは、国庫支出金です。前年に比べて157.5%の増となっており、これは、公共土木施設災害復旧比等の増加によるものです。

繰入金	2億8,878万円 (7.4%)
繰越金	1億6,063万円
使用料・手数料	7,455万円
諸収入	5,890万円
財産収入	3,125万円
分担金・負担金	2,839万円
寄付金	0万円

地方消費税交付金	6,956万円
地方譲与税	6,445万円
自動車取得税交付金	2,641万円
利子割交付金	487万円
交通安全対策特別交付金	191万円
特別地方消費税交付金	154万円



歳入合計 39億2,426万円



### 歳出

前年度と比較すると1,694万円の増加となりました。主なものを前年度と比較すると総務費は、7.2%の減となりました。これは、赤坂団地造成負担金分が減ったことによるものです。

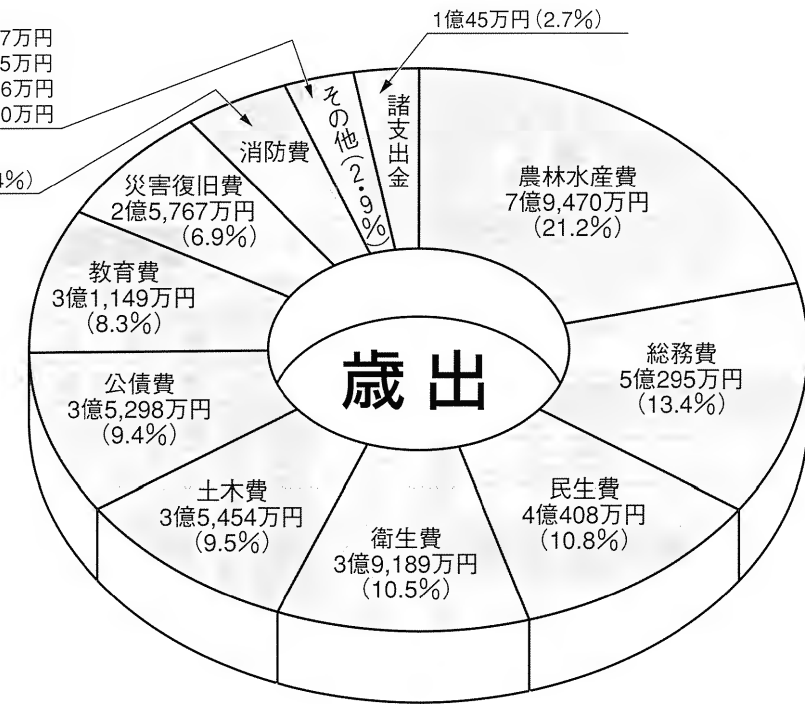
土木費も前年度と比べると42.1%の減となりましたがこれは、道路改修工事に伴う民間からの受託事業完了に伴うものです。

また、増えたものとしては農林水産業費が、1.5%の増加となりました。これは、農村総合整備モデル事業、地域開

村民一人当たり  
約49万円使う

平成11年3月31日現在の人口は、7,586人で、一般会計の歳出総額37億4,448万円を割り算してみると、住民一人当たり49万3,604円が使われたこととなります。

一方、村民税を同じく人口で割った場合、村民一人当たりの納めた税金は、91,523円になります。



歳出合計 37億4,448万円

公表します

# 村職員・村特別職の給与など

村職員の給与などは、人事院と県人事委員会の勧告を基に、また村特別職の報酬などは、石川地方町村特別職報酬等審議会の審議に基づき、村議会の議決を得て条例により支給されています。この村職員と村特別職の給与や報酬などの状況について、そのあらましをお知らせします。

なお、ここに使用している数値は、平成11年4月1日現在の「地方公務員給与実態調査」及び「地方公共団体定員管理調査」をもとにしています。

表1

給 与 費			
給 料	職員手当	期末勤勉手当	計
千円 314,591	千円 56,493	千円 151,674	千円 522,758

表2

一般行政職		技能労務職	
平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
318,300円	38.11歳	305,500円	56.4歳

表3

	標準的職務内容	職員数	構成比
1級	主事補	3人	4.7%
2級	主事	13人	20.3%
3級	主事	5人	7.8%
4級	主査係長	5人	7.8%
5級	主査係長主任主査課長補佐	19人	29.7%
6級	主任主査課長補佐主任主課長	13人	20.3%
7級	課長	4人	6.3%
8級	総務課長参事	2人	3.1%



表4

区 分	玉 川 村	
	決定初任給	採用2年経過給料額
一般行政職	大学卒	174,200円
	高校卒	141,700円

表5

特殊勤務手当	危険・困難な業務に従事する職員に対して支給する手当。本年度支給職員16.5% 1人平均年額60,000円 税務職他4職種
扶養手当	配偶者16,000円・第1子（配偶者扶養5,500円・配偶者被扶養6,500円・配偶者なし11,000円）・2人までは5,500円・その他1人につき2,000円満16歳の年度初めから満22歳の年度末まで5,000円加算
通勤手当	交通機関を利用しなければ通勤が困難な職員は、51,000円までは全額支給。超える場合は、超過額の2分の1に51,000円を加算した額。交通用具（自動車等）使用者は通勤距離に応じ、2,000円～32,400円まで26段階
住居手当	住居3,500円・住宅を借り受け月額9,500円を超える家賃を支払っている職員は、20,500円以下は9,500円を控除した額。20,500円以上は20,500円を控除した額の2分の1（その額が16,000円を超えるときは16,000円）を11,000円に加算した額。
時間外手当	正規の時間を超過して勤務した際に支給される手当（10年度普通会計職員支給総額23,210千円 1人平均年額279,639円）
期末勤勉手当	期末 6月期 1.6月分・12月期 1.9月分・3月期 0.55月分 勤勉 6月期 0.6月分・12月期 0.6月分

表6

給料	村長 助役 収入役	758,000円 607,000円 568,000円
報酬	議長 副議長 議員	304,000円 239,000円 223,000円
期末手当	村長 助役 収入役	6月期 1.6月分 12月期 1.9月分 3月期 0.55月分
	議長 副議長 議員	6月期 1.6月分 12月期 1.9月分 3月期 0.55月分

**級別職員数**  
職員の給料は職務の責任の度合いに応じて8つの級に分かれています。級別の職員数や構成比は、表3の内容になっています。

## 級別職員数

主なものは、表5のとおりです。

## 諸手当

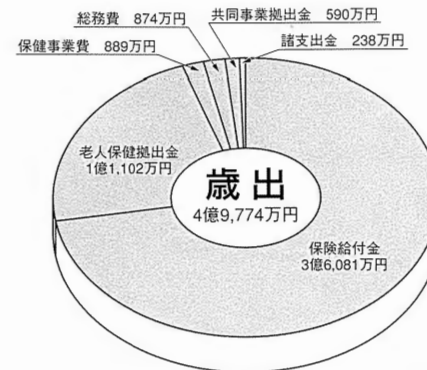
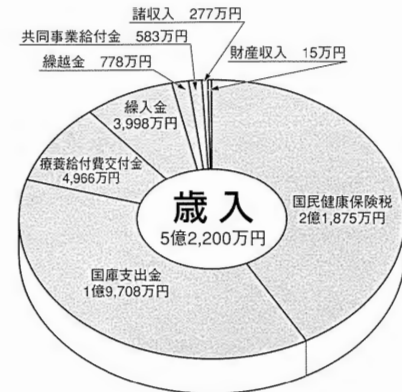
4のとおりです。

## 初任給

また、特別職の給料などは表6のとおりです。

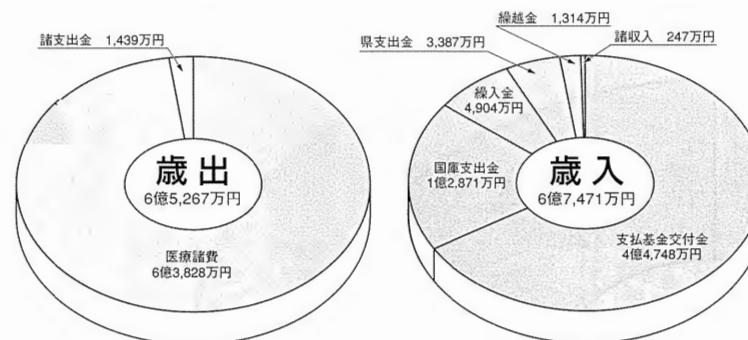
## 職員給与など

平成11年度の給与予算総額は、5億2,275万8千円（給与や手当の内訳は表1のとおり）となり、一般行政職の平均給料月額、表2のとおり31万8,300円（38歳・11歳）となっています。

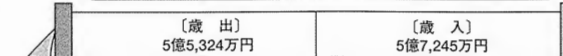


## 老人保健特別会計

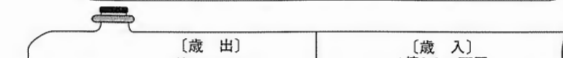
歳入決算額は、6億7,471万円。前年度と比べて9・6%の増加となり、歳出決算額は、6億5,267万円で前年比8・3%の増加となりました。前年度の比率の伸びが高くなっていますが、これは、被保険者の増加と、一人当たりの医療費が伸びたためです。



## 農業集落排水事業特別会計



## 簡易水道事業特別会計



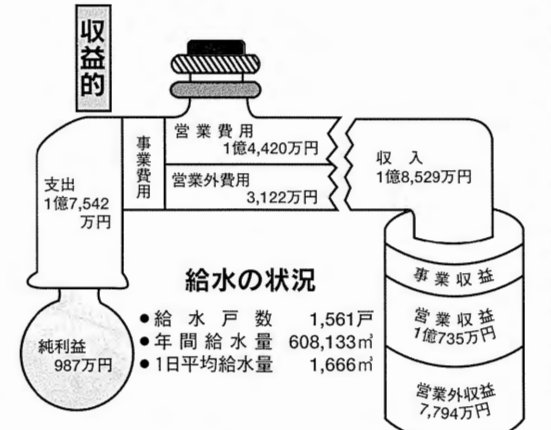
## 国民健康保険特別会計

歳入決算額は5億2,200万円、歳出決算額は4億9,774万円となり、おり、実質収支は2,426万円の赤字決算となりました。しかし、医療費が費用額において前年度比93・2%と減少しましたが、年度末において国保基金から1,319万円を取り崩し、歳入に繰り入れたので、經常収支でも黒字決算となっています。

歳入のうち保険料は、2億1,875万円で、前年度と比べて5・2%の増加です。歳出では、保険給付費が3億6,081万円で前年比8・8%の減となり、これは一人当たりの医療費が減少したためです。



## 1日1人当たり給水量は282ℓ



## 上水道事業会計（税抜き）

資本的 (税抜き)	
収入	一般会計補助金 3,000万円
	補償金 1,497万円
支出	建設改良費 4,463万円
	企業債償還金 1,452万円

平成10年度は、791万円の純利益で、前年対比98・52%となっています。収益の主体は、営業収益で総収益の57・9%になっています。また、1㎡当たり（メーター器使用料を含む）の収入は、187円55銭で前年度の187円34銭より21銭の増加となっています。

# 75歳以上 615名の長寿を祝う 村敬老会を開催

平成11年度の村主催の敬老会は、9月15日(水)に村民体育館で開かれました。今年の招待者の数は、75歳から79歳までのお年寄りが325名、80歳以上のお年寄りが290名の合わせて615名でした。

会場には、招待者のほか県議会議員、村議会議員、民生委員、行政區長など多数の関係機関からの来賓の皆さんが出席して長寿のお祝いが行われました。

また、今年6月に百歳を迎えられた大越サタさんへの内閣総理大臣祝状と記念品の伝達も行われ、車田村長から代理で長男の大越一二さんに贈られました。



夫婦で80歳になられた有賀清美さんとフヨさんご夫妻に車田村長から記念品が贈られる

## アトラクションを楽しむ

車田村長が式辞を述べたあと、特別記念品の贈呈が行われました。今年で「米寿」(88歳)になられた方18名と、ご夫婦で80歳になられた方6組に車田村長から記念の座布団が贈られました。

大野県議会議員と高林村議会議員からそれぞれお祝いのことが述べられたあと、招待者を代表して佐久間倉太さん(岩法寺)が謝辞を述べて閉会となりました。

昼食が配られると泉・須釜婦人会各支部の皆さんによるアトラクションが開かれました。真弓正子さん(藤生支部)と関根秋子さん(四辻新田支部)の司会で支部ごとに踊り



日本航空民謡研究会の皆さんの演奏

が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

また、今年は、日本航空民謡研究会(安食英男会長)の皆さんによる三味線と民謡も披露され、「津軽じょんがら節」の軽快で哀愁のある音色などを楽しみました。



謝辞を述べる佐久間倉太さん

## 日赤の介護者顕彰式

アトラクションの前に長年わたって家族の介護に携わってこられた方々に日赤福島県支部長からの感謝状の伝達が車田村長から行われました。受賞者は、次の方々でした。

鈴木ミチさん(南須釜)、馬上シチさん(南須釜)、矢部コノエさん(川辺)、上野イソさん(竜崎)、故大和田ツルヨさん(川辺)



須釜婦人会北須釜支部の皆さんの踊り

## 長寿者への記念品を贈呈 90歳以上は42名

### 最高齢は、大越サタさん

村の90歳以上(平成11年9月15日現在)のお年寄りの人数は、昨年と同数の42名です。男女別の内訳は、男性が9名(昨年より4名増)、女性が33名(昨年より4名減)となっております。

村では、90歳以上の長寿をお祝いして、9月6日から8日までの3日間、車田村長が各家庭をまわって、直接、本人に記念品を贈りました。

村の最高齢者は、本年6月

に百歳を迎えられた大越サタさん(南須釜)です。サタさんは、百歳のお祝いに駆け付け

てくれた北海道在住の息子さんが帰る際に、福島空港まで見送りに出られたというほど

元気です。日常はカセットで昔ばなしを聴くのを楽しみに

しています。

二番目の長寿者は、9月に99歳の白寿を迎えられた車田

カネさん(小高)です。カネさんは自分の身の周りのことは

全て自分でやっており、炊事も

しています。また、医者に診てもらったということがほとんど

無いという元気なおばあちゃんです。

男性で村一番の長寿者は、

石森常次郎さん(山小屋)です。

常次郎さんは、明治38年生まれ

です。11月(来月)には、94歳の誕生日を迎えられます。

趣味は、カメラで敬老会にも出席して、最前列でアトラクションの踊りを熱心に撮影



記念品を受ける村一番の長寿者の大越サタさん

## 平成11年度 長寿番付

### 90歳以上の長寿者

(年齢は平成11年10月1日現在)

東					西				
大関	大関	横綱	横綱	大越	大関	大関	関脇	関脇	上野
大竹マツヨ	白旗キミ	榊枝スエ	榊枝スエ	サタ	車田カネ	小針イシ	大野ツメ	大野ツメ	リヨ
95	95	96	96	100	99	95	95	95	94
岩法寺	川辺	南須釜	南須釜	南須釜	小高	川辺	南須釜	南須釜	竜崎
前頭	前頭	小結	小結	前頭	関脇	小結	小結	前頭	前頭
大越スイ	近内スキ	塩沢経雄	石森常次郎	小林フミ	矢吹ハル	三輪貞夫	矢部勇太郎	石井トシ	佐藤セイ
92	92	93	93	94	94	93	93	92	92
南須釜	吉	南須釜	山小屋	竜崎	川辺	小高	川辺	小高	竜崎
前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭
小林ヒサミ	村越ヨシノ	榊枝カツヨ	榊枝サチ	草野ハル	佐久間ケサ	塩田キクエ	小林ヨシ	矢部スサ	西館コト
91	91	91	91	92	92	91	91	91	91
竜崎	岩法寺	北須釜	北須釜	南須釜	岩法寺	南須釜	竜崎	川辺	北須釜
前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭
増子ヨシ	関根トキ	矢吹徳治	吉田マツ	鈴木キヨ	小針キク	我妻フチ	吉田吉治	佐藤源次郎	真弓友英
90	90	90	90	90	91	90	90	90	90
南須釜	南須釜	北須釜	川辺	川辺	中	山小屋	岩法寺	川辺	藤生



二番目の長寿者で99歳の車田カネさん



男性で一番の長寿者の石森常次郎さん



### 第1回福島空港玉川健康マラソン大会

15部門に951人が参加

## 県内トップランナーも出場

台風一過のもと、村主催の第1回福島空港玉川健康マラソン大会は、9月26日(日)に福島空港公園で行われました。大会は、空港公園前をスタートし、ゴールする2kmから10kmのコース15部門に県内外から951名が参加して行われました。また、特別招待選手として元オリンピック選手の中山竹通選手も参加して大会を盛り上げました。

大会は、午前9時から空港公園内広場で開会式が行われ、大会長の車田村長が参加者に歓迎のあいさつを行いました。高林村議会議長が祝辞を述べたあと、招待選手の中山竹通選手が紹介されました。次に県南陸上競技協会の矢内雅太郎会長から選手の皆さんに競技上の注意が話されました。ふくしま駅伝玉川村チームの境田康雄君(須釜中3年)が

### ボランティアが活躍

マラソン大会の裏方として競技スタッフなどに355名の村民がボランティアとして協力しました。また、『よつばの会』の皆さんは、温かいとん汁を作って、走り終えた選手や応援の皆さんに振る舞い、大好評でした。



選手宣言をする境田康雄君

# 秋の“玉川路”を走る

## 最高齢者は高橋さん(山小屋)

### 北根さんは、高知市から参加

本格的なマラソン大会といふことで、参加者の中には、いろいろなランナーが勢揃いしました。そこで、ユニークなランナーを紹介いたします。まずは、遠方からの参加者です。最も南からの参加者は四国の高知市から参加された北根祥男さん(57歳)でした。反対に最も北からは、岩手県雫石町から参加の遠藤富雄さん(44歳)でした。

最高齢者の参加者は、本村山小屋の高橋修さん(86歳)で、5kmを完走しました。また、女子での最高齢者は、いわき市から参加された鈴木シズエさん(69歳)でした。

最も年齢の若い参加者は、小学校2年生以下親子の部に参加した本村南須釜の瀬谷友里奈ちゃん(4歳)で、お母さんのヒロ子さんと手をつないで2kmを見事完走しました。



最年長の高橋修さん



女性最年長の鈴木シズエさん



最年少の瀬谷友里奈ちゃんと母親のヒロ子さん



参議院議員の岩城光英さん



埼玉県玉川村から参加の木村仁さん(右)



遠方参加の北根さん(高知市・左)と遠藤さん(雫石町・右)

## 一般男子A10kmは八木沼選手(浅川町)が優勝 各部門優勝者に航空チケットがプレゼント

エリートランナーが集中する一般男子A10kmの優勝者は浅川町の八木沼和夫さん(29歳)が31分46秒の記録で優勝を飾りました。また、部門優勝者6名の皆さんには、福島空港に乗り入れをしている航空会社からの提供による就航先に往復チケットや賞品などが贈呈されました。



部門優勝者6名に航空チケットが贈呈

### 各部門優勝者

( )は所属

小学2年以下親子

● 萩生孝行、捷組(下太田RC)

小学3・4年生男子

● 新保雅樹(本宮小学校)

小学3・4年生女子

● 千葉あり沙(川崎市立菅生小)

小学5・6年生男子

● 鈴木優行(小平小学校)

小学5・6年生女子

● 松本 幸(二本松市立杉田小)

中学生女子

● 高橋裕未(西郷一中)

一般女子A39歳以下

● 石塚真由美(夢追い走)

一般女子B40歳以上

● 佐々木美恵子(柳小針西国堂)

中学生男子の部

● 加藤将士(福島駅伝須賀川市)

一般男子C40歳以上

● 大野謙一(柳日立物流)

一般男子D60歳以上

● 室井永吉(那須白樺ランニング)

一般女子フリー

● 岩崎恵子(カメカメくらぶ)

高校生男子

● 江田和彦(ふくしま駅伝浅川)

一般男子A39歳以下

● 八木沼和夫(ふくしま駅伝浅川)

一般男子B40歳以上

● 斉藤一夫(斉藤材木)

(敬称略)

# 9・21 台湾中部大地震

## 友好都市「鹿谷郷」を直撃

死者17名、負傷者60名余り

本村と国際友好都市を締結している鹿谷郷のある台湾南投県を震源とする台湾中部大地震は、9月21日の午前1時47分（日本時間午前2時47分）に起こりました。阪神淡路大地震と同じ直下型地震で、マグニチュード7・6という大きな地震で、鹿谷郷でも多くの家屋が倒壊して、死者17名と50から60名の負傷者がでた大惨事となりました。

### 26日の余震M6・5 更に4名が死亡

村では、地震発生直後から鹿谷郷と連絡を取ろうとしたが、電話が通じないため、現地の状況が分からずイライラが続きました。テレビや新聞の報道では、鹿谷郷からほど近い台中市の市内のビルが倒壊していたり、道路や橋がズタズタに引き裂かれている様子が映し出され、鹿谷郷の皆さま

の安否が心配されました。現地の状況を把握するため村では、9月27日に村企画財政課の野口庄嗣課長と矢部玄幸係長の2名を鹿谷郷に派遣しました。現地を調査して帰国した野口課長は「台中市内はテレビで報道されているほどの混乱はありませんでした。鹿谷郷はとてひどい状態です」

した。鹿谷郷のすぐ隣町である集集鎮が震源地で、台湾では今回の地震を「集集地震」と呼んでいました。26日に大きな余震があつて、鹿谷郷でも4名の新たな犠牲者が出てしまいました」と報告されました。また、鹿谷郷農會の建物をはじめ、小・中学校の多くが倒壊しました。建物が倒壊したり、半壊しているところは、余震での新たな犠牲者がでないように2カ月間は、立ち入り禁止のテープが張られています。自宅に戻れない郷民の皆さんは、学校の校庭などにテントを張つての生活が続いており、今後、2カ月のテント生活を強いられることとなっています。陳郷長は「現在のところ、



1階部分が押し潰されてしまった鹿谷郷農會の建物（左側）

救援物資（食料や衣服）は間に合っていますが、公共施設などの復旧にどの位かかるかわからないので頭を痛めています。支援を頂けるなら義援金が復旧費として活用できるので有り難いです」と話していました。

### 車田村長らが お見舞いに

車田村長と高林議長らは、鹿谷郷へのお見舞いのため10月8日夜に成田空港を出発しました。翌9日に鹿谷郷を訪問して、今回の地震で犠牲となった郷民の皆さんに哀悼の意を表すとともに村からのお見舞い金と玉川村内の幼稚園

児や小、中学生がみんなで折った「千羽鶴」を陳郷長に手渡し、一刻も早く元の鹿谷郷に戻るよう力づけました。車田村長らの訪問に対して陳郷長は「玉川村の皆さんにとても感謝しております。郷民が一丸となって復興に全力を挙げて頑張ります。」と話しました。車田村長らは、10月10日に帰村しました。

### 義援金が 寄せられる

「鹿谷郷の復旧のためにお役に立てください」と村建設業協力会（岩谷忠一会長）などから村に義援金が寄せられました。現在、村では会計室で義援金の受付をしています。義援金のご協力をされる場合は、会計室に備付けの受付簿に記載していただいています。そのほか、JAあぶくま石川泉支店と須釜支店、須賀川信金玉川支店で口座での義援金を受け付けております。また、役場窓口、須釜支所の窓口にも「義援金箱」を設置しています。



学校の校庭でのテント生活

### 義援金を寄せられた皆さん

（会計室及び口座受付分）

- 小林工務店 さん
  - JA 泉支店 さん
  - 我妻 一さん
  - 岡部 シンさん
  - 和田 信之さん
  - 真弓 広吉さん
  - 小針 善治さん
  - 玉川村建設業協力会さん
  - 溝井 良伸さん
  - 伊藤 正憲さん
  - 宗形 恵子さん
  - 車田 宇多子さん
  - 岩谷 勝雄さん
  - 車田 幹夫さん
  - 佐久間 豊吉さん
  - 塩田 好一さん
  - 福島 エンヤさん
  - 小林 豊司さん
  - 宗形 友三さん
  - 小針 康敬さん
  - 大和田 サトさん
  - 丹野 敏浩さん
- その他に「義援金箱」にご協力くださいました皆様、誠にありがとうございます。（10月6日現在）

### 第6回全国玉川サミット 介護保険をテーマ に意見交換

愛媛県玉川町で開催

第6回全国玉川サミットは10月5日（火）に愛媛県玉川町を会場に行われました。

3つの町村からそれぞれの首長と議長が出席して「介護保険制度の取組状況と課題」をメインテーマにして、それぞれの町村の現況と今後の対応について意見交換が行われました。



農産物直売所「玉川湖畔の里センター」を視察

また、今回は、昨年のサミットで提案されていた3町村の「大規模災害時における相互応援に関する協定」についても話し合われました。

車田村長は、今回の台湾中部地震における本村との国際友好都市「鹿谷郷」の状況などの事例を含めた内容で意見発表を行い、大規模災害時での相互応援の必要性に理解を求めました。当協定は、全町村とも異議なく全会一致で承認されました。



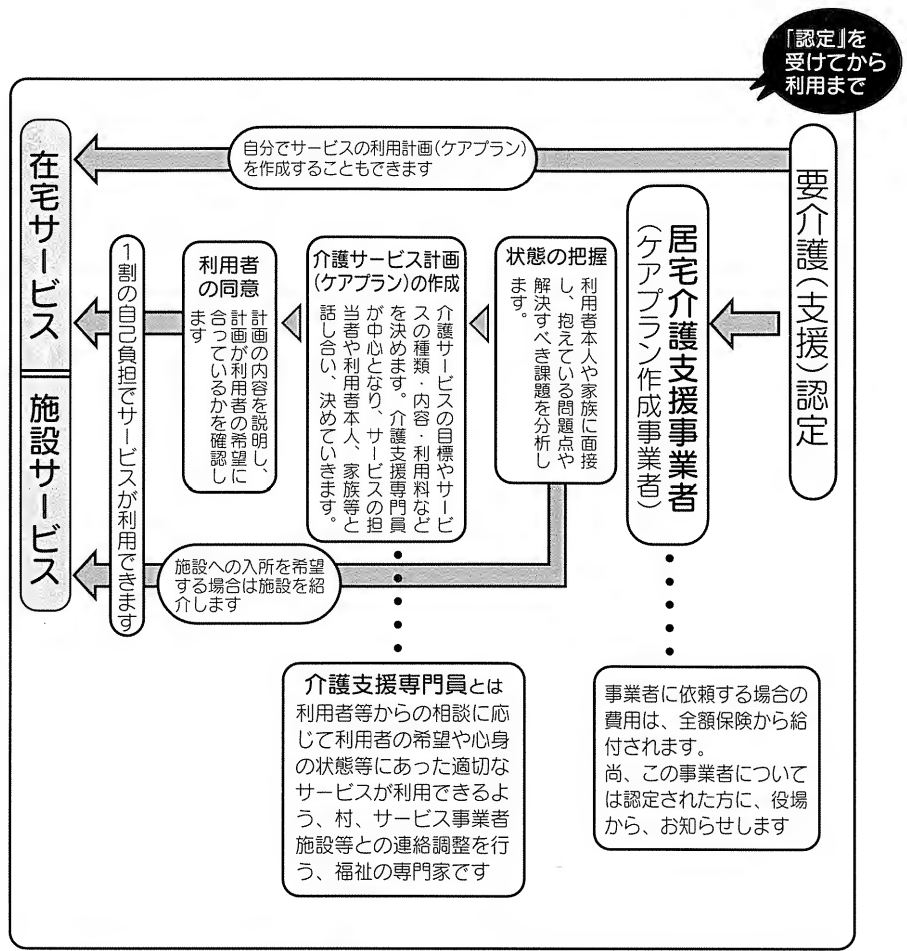
無残な姿になってしまった瑞峰国民中学校の校舎

シリーズ介護保険⑥

# 『介護保険制度』が始まります

—平成12年4月からスタート—

来年の4月からのスタートに備え、10月から、申請・認定業務が始まりました。今回は、「要介護（支援）認定」を受けた方がサービスを受けるまでのような過程になるかを紹介いたします。



## 平成12年 成人おめでとう

平成12年の成人式は、1月10日（成人の日）にマージュラス末広で行われます。新成人者は次のとおりです。

なお、該当しているのに名前が漏れていたり、村外に住所があつてもふるさとで成人式に臨みたい方は、12月3日までに村教育委員会へお申込みください。

- （川辺地区・16名）大竹勝巳・須藤陽弘・曲山貴彦・鈴木智紀・三本松由美・熊田久子・須藤美枝・矢部淳・熊田美佳・味原理恵・吉田秀人・白旗美沙子・山崎 茂・須釜絵梨香・野崎 洋・高橋郁恵
- （藤生地区・5名）真弓和子・須釜学・矢吹晋寿・溝井千春・渡邊健幸
- （小高地区・16名）高原雄紀・矢吹彰浩・溝井敦・高原美智恵・大竹由記應・大竹加津應・関根秀文・溝井恵美子・溝井清志・溝井裕美・須藤幸子・須藤美穂・宮部 孝・首藤賢司・白澤真理子・仁部裕之
- （中地区・9名）小針武彦・橋本昌喜・首藤雅仁・近藤和幸・高林和広・水野寿・高林浅哲・石津由美子・高林三樹雄
- （岩法寺地区・各18名）大竹智美・

- 倉鎌憲治・須釜優美子・大竹幸恵・武田里美・小林 悠・神山和寛・倉鎌孝美・芳賀英佳・須藤儀仁・佐久間充・大竹弘記・須釜一博・吉田和弘・熊田和人・矢吹公訓・及川美由希・佐久間浩幸
- （竜崎地区・14名）小林恵・小林朋美・湯澤明美・小針美妃子・石井清剛・鈴木裕子・小林幸恵・仁井田智恵・石井清幸・仁井田幸恵・小林弘幸・上野弘貴・石井恵美・角田修一
- （南須釜地区・23名）小山田清美・草野正三・阿部峰子・金子久美子・大野博志・大野弘司・近内博昭・圓谷伸一・草野美恵子・大越里佳・小原希枝子・関根真理子・大野 学・阿部恵美子・小原徳雄・小原拓也・飯島直紀・有賀富士子・大野和人・馬上太・小山田和也・塩澤和幸・宗形恵子
- （北須釜地区・10名）関根良朝・草野ゆかり・関根勝夫・矢吹厚子・草野孝幸・矢吹基子・榊枝妙子・鈴木八重子・瀬谷隆伸・鈴木聡美
- （吉地区・6名）森 和巳・境田広中・矢吹由美・有賀京子・須釜智英・森久美
- （小屋地区・7名）石森浩子・石森一敏・石森努・我妻広弥・関根直子・石森智子・鈴木幹夫
- （四辻新田地区・2名）飯田昭広・関根浩子

### Q 介護サービス計画とは、具体的に、どんなものですか？

A 介護サービス計画（ケアプラン）の具体例

たとえば、要介護3の場合利用できるサービスは？

要介護3のサービス利用例  
・施設への通所サービスに重点をおいた場合（通所型）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	通所介護 または 訪問介護	訪問介護	通所介護 または 訪問介護	訪問看護	通所介護 または 訪問介護	訪問介護	
午後	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション	訪問介護 (巡回型)	訪問介護 (巡回型)

短期入所 6か月に3回  
福祉用具貸与 車イス、特殊寝台、マットレス

訂正とお詫び  
前月号の第2回よい歯のコンクルの記事中、小林菜摘ちゃんの「業」が「奈」に間違っていました。次のお詫びに訂正のうえ、お詫びいたします。

そして、このサービス計画をつくるのが介護支援専門員です

「サポートは、お世話になります。お礼申し上げます。」



▲▼ 特別養護老人ホーム「さぎそう」より



小林菜摘ちゃん (竜崎・和寿)

## 高齢者 交通安全 指導隊に委嘱状

村長・安協会長・警察署長の三者より委嘱

高齢者の交通事故が増加しており、交通安全事故防止が重要課題になっていきます。

9月9日に役場北庁舎で高齢者交通安全指導隊の委嘱状交付式が行われました。指導隊

は、今後高齢者への安全指導を行い、交通安全事故防止に努めることとなります。指導隊に委嘱された方は、次のとおりです。

（敬称略）  
車田悦夫、小原良雄、石井清勝、須藤ゆき子、小山田恵子、三輪光江、関根ミエ子、金澤リマ子、塩田ゆかり、須釜勝則、熊谷保勝



委嘱状を受ける車田悦夫さん(右)

## 人事 任期満了により 小針村助役が退任

小針康敬村助役は、9月30日に任期満了で退任となりました。

小針助役は、平成7年10月1日に村務課長から助役に就任し、豊かな行政経験で村長を補佐してきました。

9月30日に村長室で退任式が行われ、車田村長から感謝状が贈られねざらぬことほのあつと、「職員、助役として長い間、お世話になりました。村発展のため皆様のご活躍を期待しております」と退任のあいさつが述べられ、職員に見送られ庁舎をあとにしました。

## 教育委員に 矢吹さんが再任

村教育委員に矢吹貞幸氏（51歳・北須釜）が再任されました。矢吹委員は、二期目であり10月4日から4年間の新任期となります。



花束を手に職員に見送られる小針助役

## トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—  
役場総務課広報広聴係まで



消防団幹部チーム対商工会チームの試合

### 第26回村役職員ソフト教育チームが優勝

猛打で他を圧倒

9/12

村役職員の親睦を図ることを目的とした第26回玉川村役職員ソフトボール大会は、村民グラウンドを会場に行われました。

8チームが出場し、トーナメント戦で行われ、晴天のもとハッスルプレーや珍プレーが続出して楽しいひとときとなりました。熱戦の結果、猛打爆発の教育チームが優勝を飾りました。

成績は、次のとおりでした。  
(優勝) 教育チーム  
(準優勝) 役場三役課長チーム  
(3位) 消防団幹部チーム  
体育指導員チーム

### 地域に響け交通安全

村内小学校で鼓笛パレード

9/20



元気いっぱいパレードする四辻分校の児童

秋の全国交通安全運動に合わせて、村内の各小

学校で交通安全の鼓笛パレードが行われました。

須釜小学校四辻分校の鼓笛隊パレードは、午前8時40分に塩田商店前を出発し、諏訪屋旅館までの往復コースで行われました。秋の心地よい日差しを浴びながら、子供たちは一生懸命に演奏をし、交通安全をアピールしました。

### がんばれ 矢吹君

9/27



車田村長から賞状を受け取る矢吹健司君(中央)右は父親の晋市さん

第8回全国知的障害者スポーツ大会(ゆうあいピック)しまね大会に、本村の矢吹健司君(17歳・県立あぶくま養護学校)が出場することになり、報告のため役場を訪れました。

大会は、島根県松江市を会場に陸上競技など11種の競技が行われ、矢吹君は、陸上競技の100m、200m、400mリレーに県代表として出場します。100m13秒02の記録を持つ矢吹君に車田村長が「悔いの残らないよう全力で頑張ってきてください」と話し激励金を贈りました。



賞状を受ける玉川スポ少B3主将の吉村達也君

子供たちの一生懸命のプレーに保護者の皆さんからの声援が飛び交っていました。

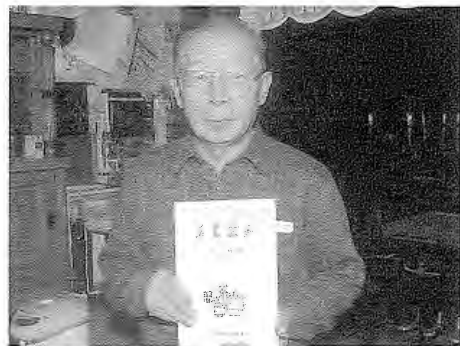
熱戦の結果、浅川スポーツ少年団が昨年に続いて2連覇を達成し、玉川スポーツ少年団Bが3位入賞となりました。

9/19

### 第二回 玉川ライオンズ杯 玉川スポ少B3位

### 方言集「多萬閑和」を刊行

9/30



方言集「多萬閑和」を手にする石井庄八さん

村郷土史研究会(石井庄八会長)は、このほど玉川村の昔ことばを後世に伝えるため、村で使われている方言をまとめた冊子『多萬閑和』を刊行しました。

冊子は、方言とそれに対応する標準語、それに方言の使い方が載っており、全61ページで一冊一〇〇〇円で頒布されています。ただし、郵送の場合は、送料として二四〇円が別途かかります。なお、お申込みについては、小高字南畷16郷土史研究会 石井庄八さん ☎57-3035までお問い合わせください。

### うつくしま未来博支援チャリティコンペ コンペ寄金を村に寄付

9/6

須賀川市の福島空港カントリークラブの佐藤智之支配人が村役場を訪れて同クラブで行われた第1回うつくしま未来博チャリティコンペの寄金の5万円を村に寄附しました。

同コンペの寄金は、その他にうつくしま未来博覧に役立ててもらおうと須賀川市や岩瀬郡内の町村にも寄附されました。

### 第14回スミセイ健康財団賞

健康増進活動が評価

9/22

住友生命財団が健康増進に励んでいる全国の団体を対象に表彰している第14回スミセイ健康財団賞が本村の玉川スポーツ民踊会(佐藤ハルイ会長)に贈られました。

高県から玉川スポーツ民踊会のほか2団体が受賞しました。佐藤会長は「永年やって来て、このような賞をいただけることはとても励みになり、会員一同喜んでおります。記念品のビデオカメラも以前から踊りを習う時などにほしいと思っていたので、とても有り難いです。」と話していました。



賞状を手にする佐藤ハルイさん(左)は記念品のビデオカメラ

### 心なごむ 水彩画と絵手紙展

9/4

水彩画講座(5回)とレディーズセミナーの受講者らによる水彩画・絵手紙展は就業改善センターで開かれ、絵手紙に13名46点、水彩画に22名51点の作品が展示されました。静物や花、身近な景色をのびのびとした筆致で描かれた作品は、親子、嫁姑でそろって出品した人たちもおり、とても素朴で鑑賞に訪れた人の心をなごませていました。



水彩画と絵手紙展のようす



11月9日(火)～11月15日(月)

「あぶなつよ ひらぼち」したその火

11月9日(火)は、119番の日です。この日から11月15日まで秋季全国火災予防運動が行われます。空気が乾燥しているうえに火を使うことが多くなる時期で、ついにつかりが恐ろしい火災を招いてしまいます。村内の火災件数は、9月1日現在で8件です。昨年同期と比較すると、4件増加しています。

「あの時」、「こうすれば」と嘆く前にまず自分でできる火災予防に心掛けてください。

火災は、ほとんどが11月からの寒冷期と5月までの乾燥期に集中しています。もう一度、普段の火の取扱いについて確認してみてください。

「もしも」、「あの時」、「こうすれば」と嘆く前にまず自分でできる火災予防に心掛けてください。



～ いずみ幼稚園運動会より ～

個人事業税納期の第2期は11月30日まで

個人事業税とは、個人で事業を行っている方に課税される税金です。個人事業税の納期限は、第1期が8月31日(火)、第2期が11月30日(火)となっています。第2期分の納税は、県中地方振興局県税部から送付される納付書により、最寄りの金融機関から納期限まで納めてください。

なお、来年度以降、新たに預金口座からの振替納税を希望される方は、県中地方振興局県税部にご連絡ください。

◆問い合わせ先  
福島県中地方振興局県税部  
郡山市麓山1丁目1番1号  
(電話) 024-935-1251(課税内容)  
935-1241(口座振替)

11月7日(日)に岩法寺山にて  
「蘇れ! じぶしの里」植樹祭  
佐藤知事も来村

わが国は、21世紀初頭には世界でも例のない「超高齢社会」を迎え、労働力人口の5人に1人が60歳以上の高齢者となり、高齢者が働き手の主役となる時代になります。このため、高齢者の豊富な知識、経験や技能を有効に活用し、希望者全員が65歳まで働くことができる、「65歳現役社会」の実現に向けて、事業主の皆様のご協力とご理解をお願い致します。 ※高齢者の雇用促進のため、各種助成金をご利用下さい。

須賀川公共職業安定所  
☎(0248)76-8609

福島空港の建設により白樺山として親しまれた岩法寺山のシンボル「こぶしの木」が伐採されました。今回、県の「地域づくりサポート事業」として、はばたけ21夢飛行(天八木健治会長)の主催によりこぶしの木1,000本が植樹されることになりました。

この植樹祭が、11月7日(日)に岩法寺山で行われます。

なお、実施については、今後、実行委員会が組織されて詳細が決定する予定です。



伝言板

第13回玉川村長杯ゴルフコンペを開催

玉川村長杯ゴルフコンペは、次の要領で行われます。参加を希望される方は、10月29日までに村公民館にお申込みください。

- ◆期 日 平成11年11月9日(火)雨天決行
- ◆集合時間 午前7時30分(スタート午前8時)
- ◆場 所 福島石川カントリークラブ 東・中・西コース同時スタート
- ◆競技方法 \*18ホール・ストローク・プレー \*オール6インチ \*新ペリア方式
- ◆会 費 3,000円(プレー費、売店などは各自清算願います)
- ◆表彰式 マーヴェラス未広
- ◆注意事項 スタート時間30分前までに受付を済ませるよう早めにご来場下さい。



10月11月の健康ごよみ

- 10月
  - 22日(金) 股関節脱臼検診 石保 午後1時30分～2時 受
  - 27日(水) 機能訓練 保 午前10時～ 受
  - 29日(金) 3歳児健診 保 午後1時 受
- 11月
  - 4日(木) 風疹予防接種 保 午後1時30分～ 受
  - 9日(火) すくすくクラブ 保 午前10時～ 受
  - 10日(水) 風疹予防接種 須 午後1時 受
  - 11日(木) 機能訓練 保 午前10時～ 受
  - 12日(金) 股関節脱臼検診 石保 午後1時30分～2時 受

保:保健センター 須:須釜公民館  
石保:石川町保健センター 受:受付時間

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 南須釜の眞野日眞衛さん
- 南須釜の猪原只之さん
- 北須釜の渡邊良友さん

(村社会福祉協議会)



村のようす (11年10月1日現在)

- 1,798戸(+8)
- 7,608人(+18)
- 3,749人(+7)
- 3,859人(+11)

お誕生おめでとうございます (9月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川 辺	鈴木 愛 子	嘉 兼
南須釜	曲 山 陽 花	博 文
北須釜	草 野 友 宏	正 光

おくやみ申し上げます (9月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
南須釜	眞野目キヨシ	93	眞 衛
〃	猪原トシエ	71	只 光
北須釜	渡 邊 哲 夫	72	良 友

今月の納税

【納期限は10月25日(月)です。遅れずにお納めください。】

固定資産税 第2期  
国民健康保険税 第4期  
国民年金保険料 10月分

花愁短歌会玉川支部詠草集

村公民館

曾孫らと親子と揃い車を洗う姿にみとれて立つ朝の庭  
台風はこの県内に大暴れ予防工学の遅れが目立つ  
ためらいつつ共にすすめし絵の時間園児らの面の輝きに会う  
物置のバイクは今に光りつつ亡夫の影を偲ばせており  
満天の星のひかりに身を浸しころもさやに迎う七夕  
七曲りの通勤路にも咲くあやめ暫し愛でんか傘さしかけて  
新聞と雑誌をせがむ病む老父諫めながらも売店に走る

- 小針 守次
- 登那木きみ
- 川田 吟応
- 川崎 雄子
- 小針みね子
- 小針 愛子
- 吉田 英祐

シリーズ

## 今日の食卓⑱

今月のお題は  
「青背の魚を見直しましょう」



今月も先月に引き続き「青背の魚、さば」料理を紹介し  
ます。安くて美味しいさばを上手に使うレパートリー  
をふやしましょう。

### 『さばカレー南蛮漬』

1人分エネルギー量212Kcal

— 材料(4人分) —

- さば(50g) 4切れ
- 塩 小さじ1/2
- 酒 大さじ1
- 小麦粉 大さじ1
- カレー粉 小さじ2
- 人参、ねぎ 各40g
- 油揚げ適宜

— 作り方 —

- ①さばは、塩、酒を振って10分おく。
- ②人参、ねぎは縦千切りにして、熱湯に人参を入れて茹で、ねぎを入れ、ひと煮立ちしたら、ざるに上げる。
- ③カレー粉、小麦粉を混ぜて、さばにまぶし、170℃の油でカラッと揚げる。
- ④Aを合わせてよく混ぜ、②の野菜を入れ、揚げたてのさばを入れ、漬け込む。
- ⑤野菜とともに皿に盛り付ける。

- A
- 酢、酒 各大さじ4
  - 砂糖 小さじ1
  - 醤油 大さじ2

### ワンポイント

～ピーマン、かぶ、もやしなど加えると、一品で野菜もたくさんとれるメニューに早変わり。



夏の天竜ライン下り

## 私のふるさと —長野県飯田市—

伏田 照 美さん(竜崎)



日本の中央に位置する長野県は、南北に長い急峻な山岳地帯を抱え、日本のアルプスにたとえられる自然豊かな県です。

私の生まれ故郷『飯田市』は、長野県の南部、南アルプスの美しい山々を望む下伊那地方の中心都市です。

飯田は、城下町で、市内には当時が偲ばれる武家屋敷の門などが残っており、落ち着いた感じのする街です。

昭和22年に大火災により市街地の8割を焼失するという大惨

事に見舞われました。災害の復興のシンボルとして、中学生の提案により市内中央の大通りにリンゴの木が400mにわたって植えられており、今では名所となっております。リンゴは、市の名産でもあり、ちょうど今が旬の時期となっております。市内は、観光農園もあり、リンゴ狩りの観光客で賑わいを見せます。

天竜川の名勝地「天竜峡」は、奇妙な形をした岩がたたくさんあり、四季を通じて美しい景観を見せてくれます。「天竜ライン下り」があります。また、急流の舟下りもあり、年間を通して多くの観光客が舟下りを楽しんでいます。

### 東京玉川会コーナー



## 心に残る 我がふるさと 『二つの故郷』

茨城県石岡市 関 トミヨさん(吉出身)

私の住んでいる石岡市は、

人口約5万人の歴史の残る街です。古くは、常陸の国の中心で国府が置かれ、国指定の史跡が多く、大変栄えた街でした。茨城県の中心より南に位置し、市内からは筑波山が見え、南東には日本で二番目に大きい湖の霞ヶ浦もあり、休日になると釣り好きの人達が大勢集まってきます。

石岡へ移り住んで最初に感動した事は、毎年9月に行われる関東三大祭りである、総社神宮大祭でした。山車や獅子が約40台、市内を3日間ねり歩くもので、その賑やかさには、大変驚かされました。

昭和42年、玉川村から父を呼び同居しましたが、今は亡き父もお祭りや釣りが大好きでした。毎日のように霞ヶ浦



総社神宮大祭のようす

や恋瀬川に出掛け、充実した日々を送っていたようです。父のお墓は、玉川村にありますが、福鳥空港の開港に伴い、様変わりしてゆく村に発展してゆく喜びとは裏腹に、淋しさを感じずには居られませんでした。そんな中、送って頂いている広報紙を見る度、現状が良く分かり、不安を取り除いてくれました。

今年初めて参加させて頂いた東京玉川会でも、改めて村の良さ、そこに住む人達の暖かさに触れ、改めて玉川村に生まれたい事を誇りに思いました。

これからも二つの故郷を持った事を心に深く刻み、毎日楽しく生きて行きたいと思っています。